

自己評価（第一者）/保護者アンケート（第二者）/第三者評価結果 【 5段階評価 : A…よくできている B…どちらかといえはできている C…普通 D…どちらかといえはできていない E…できていない 】

評価項目	領域	成果・取組指標 (評価の着眼点)	自己評価	保護者評価	自己評価・保護者アンケート結果 から見た課題の抽出	(株) 第三者評価 http://daisansha.lolipop.jp/	
			各教諭	アンケート		5段階評価	コメント : 訪問日 : 12/11 (金) 3名の評価者
I 教育方針・目標	教育方針	教育方針の教諭への周知徹底 及び 保護者への伝達を行う	B	B	方針、目標、今年度の重点目標は明確か?	B	
	教育目標	教育目標や今年度の重点目標を教諭や保護者に具体的に説明していく	B	A	伝え方が教諭間で話し合われているか?		
II 教育課程	教育課程の評価	子どもたちが幼稚園に行くことをいつも楽しみにするよう努める。	A	A	特になし	A	(1)教育方針は、「子ども本位」と明確に定まっています、HPにて公表もされています。目標も①健康でたくましい子ども ②きまりを守り、友達と仲良く遊ぶ子ども ③よく見、よく聞き、よく考えて行動する子ども ④感謝のできる子ども と定めているので、こちらも公表されては如何でしょうか。  (2)世界児童画展で、2013年度 入選・特選 10名、2012年度 入選 10名 の実力は、教室に掲示・展示されている絵、製作物からも感じられました。子どもが益々図画工作に興味・関心を持つ仕掛けは教諭達の知恵と汗の成果と思われま
		戸外で体を動かして遊ぶことが十分出来るようにする。	B	A			
		思い思いに製作をしたり、絵を描いたりすることを楽しめるようにする。	B	A			
		歌ったり踊ったりすることを楽しめるようにする。	B	A			
		喜んで絵本を見たりお話を聞いたりすることができるようにする。	B	A			
		身近な動植物や、周辺の自然に十分かかわって遊べるようにする。	B	A			
		進んであいさつすることができるようにする。	B	B			
II 教育課程	環境の構成と教諭の役割	集団の中で、ありのままの自分が出せるように援助する。	B	B	特になし	A	(3)子どもの声を聞くことを大切にされている、「一人一人に時間を掛けて丁寧に対応されている」と感じました。そのような事が「素朴・素直・活発な子どもの為の子どもの初めての学校」に繋がっている気がします。  (4)四季が感じられる園庭は、遊具の種類も豊富で、グラウンド、花壇、砂場、遊歩道の土も手入れが行き届いています。保護者アンケートでも絶賛されていました。  (5)保護者アンケート(2015年11月実施 対象家庭数 131)回収120件は、高い回収率(92%)となり、極めて高い満足度を示していました。今後も毎年、幼稚園の運営状況に関する「保護者アンケートや 教諭による園の自己評価」を実施される事を推奨致します。
		衣服の着脱や持ち物の始末が自分で出来るように指導する。	A	A			
		集団の中で話を聞いたり、一緒に行動することの大切さを指導する。	B	A			
		一人一人の発達や特性に応じた援助や環境の構成をする。	B	A			
		自分で考える力、自分で行動する力を大切に指導を心がける。	C	A			
		日頃から命を大切にすることや、ルールを守る態度を育てるよう努める。	B	A			
		相手の気持ちを傷つける言動をしないことの大切さを教えたり、思いやりの心が育つよう努める。	B	A			
日頃から苦手なことや嫌いなことにも意欲を持って取り組むよう支援する。	B	A					
III 安全管理	園内外の安全指導	施設・設備の環境構成や安全点検を十分に行い、安全に過ごせるようにしていく。	B	A	電話連絡網だけでは不十分	B	(6)火災に対する避難訓練は毎月実施されています。全ての教室が1Fに在り、園庭に面した配置は防災面でも適した構造となっています。また、150人程度の定員と制限している為、余裕のある空間、職員配置の為、安心感があります。ただ三田市防災安全課が「阪神淡路大震災から今年で21年目です。その教訓を子どもに“伝える 備える 活かす”をして下さい」
	災害・危機管理への対応	火災・地震・不審者侵入時に対応出来るマニュアルを作成し、避難訓練を行う	C	B			
	安全対応能力の向上	危険なことはしないことや、人に迷惑なことはしないということを発達段階に応じて指導する。	B	A			
IV 食育・保健管理	生活指導	発達段階に応じて基本的な生活習慣や健全な生活態度を育てるよう努める。	B	A	特になし	A	
	給食指導	何でも食べ心や体を元気にすることが大切だという食育を推進する。	A	A			
		食物アレルギーをもつ幼児に対し、家庭との連携を図り、十分な情報を得て適切な対応を行っている。	A	A			
保健衛生	風邪など病気にかからないよう手洗い・うがいなどの習慣が身につくようにする。	A	A				
V 教諭研修	教諭研修 研究の取り組み	教員としての自覚をもち、研究・研修を行い、実践に生かす。	B	A		A	(7)経験のある教諭ほど、自己評価では厳しく深く考える傾向はありますが、自己評価集計でコメントがあった「小学校での取り組み、活動内容、現状等をもっと把握する」という試みは難易度は高いが、テーマとして良いと思います。ぜひ、教諭間で話し合いを重ね、目標を明確にして取り組んで下さい。
		苦手なことにも挑戦し、スキルアップできるように努力していく。	B				
VI 連携	保護者	工夫した園行事を行い、学級懇談・個人懇談の機会を有意義にする。	A	A	小学校での取り組み(活動内容、現状)まで把握した方が良いか?	A	
		基本的な生活習慣の形成について家庭の協力・支援が得られるよう連携を図る。	A	A			
		保護者と会話する時間を出来るだけ設け、悩みを聞いたり、子育てのよき相談相手になれるようにする。	A	A			
	地域	幼稚園の教育力をの生かし、継続した地域支援を推進する。	B	B			
小学校	円滑な就学に向けて小学校と連携した教育活動を推進する。	C	B				
VII 預かり保育	時間外保育(早朝、保育終了後)	教育・保育内容、教室の環境なども整備し、家庭的な雰囲気の中で遊びを深めているようにしている。	A	A	特になし	A	(8)変える領域(幼稚園から認定こども園)、変えない領域(子ども本位)をこれからもきっちり見極め、取組まれる事を期待致します。
VIII 子育て支援	未就園児登園・子育て相談	未就園児登園・子育て相談 園庭開放などの子育て支援を行っている。	A	A	特になし		